

薬学部
人文社会学部
ヒューマンケア学部
健康メデイカル学部
健康医療スポーツ学部

学 力 試 験
国 語

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をよく読んでください。

- 一、試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
二、解答用紙は、マーク用解答用紙と記述用解答用紙が両面に印刷されています。
マーク式の問題はマーク用解答用紙に左記の例のようにマークしてください。

(例)

解答	
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
2	① ② ③ ● ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

※同じ解答欄に複数のマークをすることもあります

記述式の問題は記述用解答用紙に記入してください。

- 三、机の上には、受験票・鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り（電動式は除く）・時計（時計機能だけのもの）・眼鏡以外のものは置かないでください。
四、問題・解答用紙の両方に必ず受験番号・氏名を記入してください。また、受験番号をマークしてください。提出の前には記入漏れがないか再度確認してください。
五、問題は3問全問解答必須です。
六、試験中に問題冊子の印刷不鮮明・ページの落丁・乱丁に気付いた場合、また問題の内容について質問などのある場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
七、問題冊子の余白等は適宜利用して構いません。
八、配布された問題・解答用紙は試験終了後回収しますので、持ち帰らないでください。
◇携帯電話は、電源を切ったうえで鞆の中にしまってください。

志望学科・コースの上枠に○をつけてください（第一志望のみ）

受 験 番 号				
氏 名	志望学科・コース			
			薬学部	薬学
			人文社会学部	小学校・特別支援コース 保育・幼稚園コース 福祉コース メディア文化コース グローバルマネジメント 経営コース トレーナー・スポーツ経営
			ヒューマンケア学部	トレーナー・鍼灸コース トレーナー・看護コース
			健康メデイカル学部	健康栄養学科 心理学 言語聴覚学科 作業療法学科 理学療法学科 救急救命士コース 臨床工学コース スポーツサイエンスコース
			健康医療スポーツ学部	トレーナー・看護コース 作業療法コース 理学療法コース 救急救命士コース トレーナー・スポーツ アスリートコース 動物医療コース 看護学科

「問題二」 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私を含め、多くの哲学者や研究者が探求している意識は、こ^{注1}こまで紹介したような意識ではなく、もっとシンプルで素朴な意識だ。といっても、全くの別物というわけではない。すべての意識のもととなる感覚といってもよいだろう。

音楽と音の関係を思い浮かべてほしい。この世にはいろいろな音楽がある。心を揺さぶるクラシック、気持ちよさをたかぶらせるロック、踊りたくなるダンスミュージックなど、ジャンルも演奏に使う楽器もそれぞれ異なっている。しかし、それらはいくつもの音が重なることによって成り立っているという点では共通している。音が存在しなければ、音楽は生まれない。

さまざまな音楽があるのと同様に、考えたり感じたりなど、さまざまな種類の意識がある。全く異なるように思える複雑な意識をひとつひとつ研究していても、意識とは何かという問いへの答えはなかなか見えてこない。しかし、そのオーケストラの演奏を作り上げている音のような、小さな素朴な意識を研究すれば、複雑な意識についても理解が進むだろう。

ア、I 最も素朴でシンプルな意識とは何だろうか。

想像の中で、意識を分解してみよう。

今この本を読みながら、何かの思考が頭に浮かんでいると思う。こうした思考は複雑で、まだまだ分解できそう。面倒くさいなあ、嫌だなあと感じている人もいるかもしれない。感情は思考よりシンプルだが、まだまだ分解できる。じゃあ、そういうことを考えたり感じたりしている「私」という感覚はどうだろう、と思いついた人はなかなかセンスがいい。しかし、その私という感覚も複数の感覚から成り立っていないだろうか。シンプルではあるけれど、まだ音の連なり合った音楽に相当する。もつとつと分解してみよう。ひとつひとつの音に相当するシンプルで a 根ゲンの意識とは何だろうか。

それは、たとえば「見えている」という素朴な感覚だ。あなたは今この本の文字を眺めている。もう少し詳しく言うと、あなたの目は本のページが b 反シヤした光を受け止め、網膜の中の細胞がその光を信号に変え、脳の細胞がリレーのボタンをつなぐように、または次々倒れるドミノのように、情報が必要な場所に送られている。

あとで詳しく説明するが、脳の細胞たちの情報処理というのは単なる電気信号であり、化学物質のやりとりだ。それなのに、そこに「見えている」という感覚が湧く。それらの感覚こそが、最も素朴で根ゲンの意識である。この働きがなければ、たとえば目や脳が情報処理を行っていたとしても、あなたは何も感じることはない。あたかも、メモリやハードディスクを c 内ソウしたケースのごとく、ただの容器になってしまうのだ。

意識とは、あなたそのものである

何を言っているのかわからない……と、あきれるのにも白い目で見られるのにも慣れている。ゆつくり説明するから、どうかついてきてほしい。

あなたは、この本を読んでいる。読んでいろいろなことを感じている。それができるのは、この本の文字を見ることができているからだ。見えていると感じている感覚、それが意識である。

目に見えることだけではない。聞こえているという感覚、皮膚が感じているという感覚も意識だ。

イ、五感だけではない。A も意識の働きの d サン物である。恐怖や不安や怒りや喜びのような A は、脳内物質のやりとりによって調節されている。複雑に見える A も、実際には、視覚情報进行处理するときと同様に電気信号に還元される。その信号によって、私たちの心臓の鼓動

が速くなったり、呼吸が浅くなったりして、B を変えることができる。B を変えるためなら電気信号で身体に指令を出すだけでも十分に目的は果たせそうだが、そこに「もやもやした不安」や「うきうきした楽しさ」のような主観（C）が伴う。

見えることや聞こえることはあまりにも当たり前のことなので、それが意識だと言ってもピンとこないかもしれない。しかし、音が存在しなければ音楽が成り立たないように、この素朴な意識が存在しなければ、感情も思考も生まれない。そもそも「私」がどこにもいなくなる。

もし、仮に、意識と身体を切り離すことができ、意識を身体から取り出してしまったら、身体はいったいどうなるだろうか。あなたの意識が宙にぶかぶか浮いて、あなたの身体の行動を眺めている状態を想像してみてもいい。

あなたの身体には生きるための本能が備わっているので、食べ物を見つけて食べたり、危険から逃げたり、敵と戦ったりするだろう。そのために外部の情報を取り入れ、脳はその情報を処理して、適切な行動へあなたの身体を誘導するだろう。身体に害のある食べ物を口に含むと、味の情報が脳に届いて、吐き出せと指示が出て、あなたの身体はその食べ物をつき出す。尖った石を踏めば、その情報が脳に届いて、足をひっこめて別の道を選ぶだろう。

ウ、あなたの身体はせつせと情報処理をして、Ⅱ環境と相互作用しているけれど、何かが見えていると感じるあなたはいない。腐った食べ物を食べても、痛い思いをしても、まずいなあとか痛いなあとか感じるあなたはいない。情報処理だけが行われる。空中にぶかぶか浮いているあなたの意識から見て、あなたの身体はまるで他人のように見えるだろう。もしくは、あなたそっくりに作られたロボットのように見えるかもしれない。

私たちが何かを見るとき、脳は、光の情報を処理すると同時に、見ているという感覚も生み出している。この感覚が意識であり、人間にはあるけれど、機械にはない。少なくとも今の技術で生み出された機械にはないだろう。

赤い物体と青い物体を選別するロボットがあったとする。そのロボットは物体に反シャされる光の情報を処理し、赤い物体を右の箱へ、青い物体を左の箱へ仕分けしていく。ロボットが処理する情報は光の波長だけである。赤い色の感じと、青い色の感じの違いを味わったりはしない。ロボットは物体の色を見ているが、見ていると感じてはいない。

一つの細胞だけで生きている単細胞生物には、意識のようなものはまずまずないだろう。しかし、水の中を泳いだり、エサを取ったりなど、周囲の環境から情報を受け取って、それに応じた行動をして生きてはいる。D。

一方、私たちには意識が備わっている。見えているという感じがして、聞こえているという感じがして、そういう感覚がいろいろ集まって、「私」が個々に存在しているという感覚が生まれている。

Ⅲ意識とは、すなわち、あなたそのものだ。それがなければ、あなたはがらんどろの物体になつてしまふし、そもそもあなたという存在自体がなくなってしまう。

なぜ、このような意識が存在しているのか。これが一つ目の意識の不思議である。

（渡辺 正峰『意識の不思議』より）

注 1 ここまで紹介したような意識 …… 医学的な意味で用いる意識や「心」と同じ意味で使われる意識

問一 傍線部 a ～ d のカタカナの部分と同じ漢字を含む熟語を、次の中から一つずつ選びなさい。
解答は a ～ d の順にマーク用解答用紙の 1 ～ 4 にマークしなさい。

a	① 原本	② 源流	③ 極限	④ 出現	⑤ 厳格
b	① 描写	② 遮断	③ 前者	④ 斜陽	⑤ 射撃
c	① 蔵書	② 画像	③ 贈呈	④ 増進	⑤ 臓器
d	① 通算	② 持参	③ 産卵	④ 退散	⑤ 賛同

問二 空欄 ア ～ ウ に入る適切な語句を、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。解答は、ア～ウの順にマーク用解答用紙の 5 ～ 7 にマークしなさい。ただし、同じ言葉は重複して用いないこと。

① しかし	② つまり	③ だから	④ したがって
⑤ さて	⑥ さらに		

問三 空欄 A ～ C に入る語句として適切なものを、次の中から一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 8 にマークしなさい。

① 「A 感覚・B 行動・C 思考」
② 「A 意識・B 表情・C 行動」
③ 「A 感情・B 思考・C 客観」
④ 「A 感情・B 行動・C 意識」
⑤ 「A 行動・B 言葉・C 感情」

問四 傍線部 I 「最も素朴でシンプルな意識」とあるが、筆者の考える「最も素朴でシンプルな意識」の例として適切なものを次の中からすべて選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 9 にマークしなさい。

① 嫌だなあという感情	② 私という感覚
③ 見えているという感覚	④ 読んでいるという感覚
⑤ 面倒くさいなあという感情	⑥ 聞こえているという感覚

問五 傍線部Ⅱ「環境と相互作用している」とあるが、本文の内容を踏まえた相互作用とはどのような意味か。事例として適切ではない例を、次の中からすべて選びなさい。解答はマーク用解答用紙の□10にマークしなさい。

- ① 腐った食べ物を食べてまずいなあと感じる
- ② 尖った石を踏んで足を引つ込める
- ③ 害のある食べ物を食べて吐き出す
- ④ 飛んできたボールを見て体がよける
- ⑤ クラシック音楽を聴いて心が落ち着く

問六 空欄□Dに入る表現として適切なものを次の中から一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙の□11にマークしなさい。

- ① 人間には意識が存在しているのだ
- ② 意識が存在しなくても生きることができるのだ
- ③ 単細胞生物は、ロボットと同じであるのだ
- ④ 意識が存在すれば生きることができるのだ
- ⑤ 単細胞生物は、環境と相互作用していないのだ

問七 傍線部Ⅲ「意識とは、すなわち、あなたそのものだ」とあるが、その理由を「素朴な意識」という語句を使って、解答欄に合わせて、五十字以内（句読点、記号等も字数に含む）で説明しなさい。解答は記述用解答用紙に書きなさい。

「問題二」 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

モノからコトへ

近年、ビジネスで頻繁に語られる変化の一つに「モノからコトへ」というキーワードが挙げられます。工業製品を物理的な製品として売るといっても、その製品が顧客に提供する付加価値をより強く意識した商品開発やマーケティングが求められてきているということです。

三種の神器（テレビ、電気洗濯機、電気冷蔵庫）、あるいは3C（Car／Cooler／Color TV）という言葉に代表されるように、高度経済成長期の時代の顧客にとっての価値は「大きくて目立つものをこれ見よがしに所有すること」でした。あるいは外出時に誰もが知っているブランドの高級輸入車に乗ったり、高級ブランドのアクセサリを身に着けたりというのも、これに相当するでしょう。

社会も人も貧困から裕福になっていく過程においては、大抵「物理的な所有欲」↓「ブランド品等のステータスの所有欲」を経て、物理的な目に見えるものよりも、目に見えない「A」へと価値観が推移していくように感じます。

そのような価値観の変化に加えて、近年では環境への配慮などから、大量に物理的リソースを消費するものへの「a」キ「避感等も重なって、モノ志向は弱まり、「経験価値」や「共感価値」といったコト消費へとビジネスは変化しています。

また、近年急速に発展してきた「サブスクリプション」、いわゆる「サブスク」というビジネスモデルの一つの側面は、「商品やサービス」といったものを売るのではなく、そこから得られる便益を利用料という形で徴収するという点で、「B」から「C」へ、あるいは「名詞」から「動詞」へという観点からも価値がモノからコトへ転換したととらえることもできます。

このような顧客側の「D」の変化は、当然のことながら「E」者側のメーカーやサービス提供者の商品開発のスタンスにも、大きな影響を与えてきます。従来の技術主導、機能主導で「すごいものを作ったから売れるはずだ」というスタンスから、「その製品やサービスをどんな顧客がどんな場面でのように使つてどのように行動や生活が変わっていくのか？」という、いわゆるユーザのユースケースまで考えなければ、ヒット商品を生み出すのが難しくなっているのです。

それが「I」モノからコトへの変化」ですが、モノづくり時代の発想からなかなか抜け切れていない企業も多く、特に「モノづくり」を売りにした製造業を競争力の源泉としてきた日本は、その転換が難しいように思います。細かい個別の事情については業界や製品・サービスに関して様々な事情はあるかとは思いますが、マクロレベルで世界の中での日本という視点で見ると、20世紀の「奇跡的な高成長」から21世紀にかけての「奇跡的な低成長」へと一気に変化した原因には、「以前の強みが環境変化によって一気に弱みに代わってしまった」という仮説が当てはまる面も大きいのではないのでしょうか。

「オンラインエブリシング」の時代

コロナ禍は、私たちの仕事や日常生活のオンライン化を確実に加速しました。テレワークや学校のオンライン授業では、II「直接的に自らの経験としてDX^{注1}（デジタルトランスフォーメーション）を体感した人も多かったでしょう。たとえ自分自身では経験していなくても、取引先がオンライン化することで、オンライン会議に対応したり、家族の学校教育がオンラインになったりという方も含めれば、直接的であれ間接的であれ、オンライン化の影響を受けなかった人はほとんどいないと言ってもよいのではないのでしょうか。

これ以外にも、技術的には可能でありながらなかなか実際には「b」法「キ制の問題等もあつて普及しな

かったオンライン診療といったヘルスケアの分野にも、ついにオンライン化の波が訪れました。さらには無観客開催とセットになったイベントのオンライン化やeスポーツのような「オンラインファースト」の動きも進んできました。

さらにはオンライン結婚式やオンライン墓参りなど、「c カン婚葬祭」という、人と人とが触れ合うことそのものに価値があると思われる分野でもオンライン化が導入されました。

ビジネスの世界では、当然これまでもオンライン会議は存在し、特に海外とのやり取りで用いられてきましたが、原則は初対面ではなく、既に人間関係が出来上がっている場合が多かったのではないかと思います。ところがコロナ禍によって否応なくオンライン化が進み、これまでは対面が原則と信じられていた「顧客の初回訪問」ですらオンライン化することで、「一度も会ったことがない人たちと仕事をしている」という例も増えてきたのではないのでしょうか。

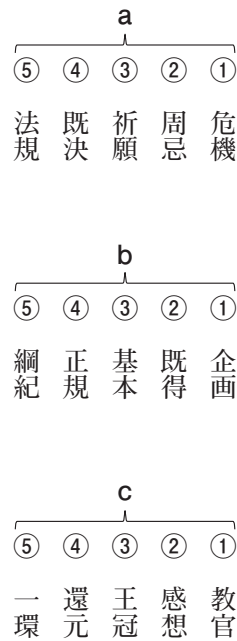
このように、10年以上も前から技術的には可能であったオンライン〇〇が一気に現実のものとなり、この流れはコロナ禍がひと段落したとしても完全に元に戻ることはなく、この点でも「見えない世界」の拡大は継続することになるでしょう。

ロシアによるウクライナ侵攻は、さすがにサイバー化が進む現代においても紛争やエネルギー問題やサプライチェーン等、依然として「見える世界」の影響が大きいことを改めて私たちに思い知らせるものでしたが、むしろこれは、コロナ禍によって進展した私たちのオンライン依存度や、グローバル経済への依存度への認識を改めて高めるとともに、Ⅲ そのことへの警鐘を鳴らすものだったと言つてよいでしょう。

(細谷 功『見えないものを見る「抽象の目」より』)

注 1 DX …… デジタル技術を活用してビジネスモデルやサービスなどを根本的に変革すること

問一 傍線部 a ～ c のカタカナの部分と同じ漢字を含む熟語を、次の中から一つずつ選びなさい。
解答は a ～ c の順にマーク用解答用紙の 12 にマークしなさい。



問二 空欄 A に入る最も適切な語句を、次の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 15 にマークしなさい。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| ① 心理的な所有感 | ② 具体的な所有感 | ③ 具体的な満足感 |
| ④ 精神的な満足感 | ⑤ 精神的な所有感 | |

問三 空欄 B ～ E に入る適切な語を、次の中から一つずつ選びなさい。解答は B ～ E の順にマーク用解答用紙の 16 ～ 19 にマークしなさい。

- | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|
| ① 供給 | ② 消費 | ③ 利用 | ④ 所有 | ⑤ 需要 | ⑥ 物品 |
|------|------|------|------|------|------|

問四 傍線部 I 「モノからコトへの変化」とあるが、本文中での「モノからコトへの変化」の具体例として適切なものを、次の中からすべて選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 20 にマークしなさい。

- | |
|--|
| ① 大きくて目立つものを持つよりブランド品などをもっていることを好むということ |
| ② 自動車を所有するより自動車を所有しなくても済むサービスやその利便性を重視すること |
| ③ 技術力を生かし、便利で必要な製品を多く作ればたくさん売れるということ |
| ④ 製品やサービスを顧客がどのような場面で使い、どのように生活が変化するかを重視すること |
| ⑤ 製品を売るだけでなく、その製品の付加価値をより意識した商品を開発すること |

問五 傍線部 II 「直接的に」が直接修飾している箇所として適切なものを次の中から一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 21 にマークしなさい。

- | | | | | |
|-------|---------|-------|--------|--------|
| ① 自らの | ② 経験として | ③ DXを | ④ 体感した | ⑤ 多かった |
|-------|---------|-------|--------|--------|

問六 傍線部Ⅲ「そのことへの警鐘」とあるが、「そのこと」が指す内容として適切なものをすべて

選びなさい。解答はマーク用解答用紙の22にマークしなさい。

- ① オンラインの波
- ② オンライン依存
- ③ グローバル経済への依存
- ④ 「見える世界」の影響
- ⑤ サイバー化
- ⑥ 紛争やエネルギー問題

「問題三」 次の各問いに答えなさい。

問一 次のア～オの四字熟語には、に同じ漢字が繰り返し入る。当てはまる漢字一字を後の〈語群〉からそれぞれ一つ選びなさい。解答はア～オの順にマーク用解答用紙の23にマークしなさい。

ア 理論
イ 偏党
ウ 海山
エ 給足
オ 信疑

〈語群〉

- ① 千 ② 空 ③ 半 ④ 白 ⑤ 無 ⑥ 不

問二 次の傍線部ア～オのカタカナ部分にあてはまる漢字を、後の〈語群〉からそれぞれ一つ選びなさい。解答はア～オの順にマーク用解答用紙の28～32にマークしなさい。

ア 古い写真を見て、幼い頃の楽しかった思い出を思い出し、カンシヨウに浸った。
イ 日本の文化に興味を持ち、歌舞伎をカンシヨウすることにした。
ウ 日本三大夜景の一つである函館山に登り、美しい夜景をカンシヨウした。
エ 精密機器の配送時は、箱の中で動かないようにカンシヨウ材をしっかりと詰める必要がある。
オ いくら仲が良くても他人の生活にカンシヨウすることは良くない。

〈語群〉

- ① 鑑賞 ② 緩衝 ③ 感傷 ④ 干渉 ⑤ 勧奨 ⑥ 観賞

